



平成 19 年 3 月期 第 3 四半期財務・業績の概況（連結）

平成 19 年 1 月 29 日

上場会社名 京王電鉄株式会社

(コード番号：9008 東証第 1 部)

(URL http://www.keio.co.jp)

代表者 取締役社長

加藤 隼

問合せ先責任者 総合企画本部 経理部経理担当課長

久保 朝陽

(TEL(042)337-3135)

1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

- 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有
 ・中間連結財務諸表の作成基準をベースとしつつ、税金等調整前四半期純利益に実効税率を乗じた税金費用を法人税等として計上するなど、一部簡便的な手続きを採用しております。
 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無
 連結及び持分法の適用範囲の異動の有無 : 無

2. 平成 19 年 3 月期第 3 四半期財務・業績の概況（平成 18 年 4 月 1 日～平成 18 年 12 月 31 日）

(1) 経営成績（連結）の進捗状況

(百万円未満切捨て表示)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
19 年 3 月期第 3 四半期	320,838	2.5	37,433	8.3	34,875	7.5	20,889	10.6
18 年 3 月期第 3 四半期	329,068	1.4	34,549	17.4	32,447	26.1	18,879	17.8
(参考)18 年 3 月期	438,253	1.2	39,937	7.7	36,368	14.6	19,867	5.9

	1 株当たり四半期(当期)純利益	潜在株式調整後 1 株当たり四半期(当期)純利益
	円 銭	円 銭
19 年 3 月期第 3 四半期	33.82	
18 年 3 月期第 3 四半期	30.43	
(参考)18 年 3 月期	31.89	

(注)売上高、営業利益等におけるパーセント表示は、対前年同四半期増減率または対前期増減率であります。

(2) 財政状態（連結）の変動状況

	総資産	純資産	自己資本比率	1 株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
19 年 3 月期第 3 四半期	655,746	246,180	37.5	398.56
18 年 3 月期第 3 四半期	614,915	233,088	37.9	375.72
(参考)18 年 3 月期	630,700	237,644	37.7	384.53

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
19 年 3 月期第 3 四半期	34,336	27,899	22,249	67,492
18 年 3 月期第 3 四半期	40,251	23,078	3,864	34,506
(参考)18 年 3 月期	54,944	33,040	4,299	38,802

[参考]平成 19 年 3 月期の連結業績予想（平成 18 年 4 月 1 日～平成 19 年 3 月 31 日）

通 期	売上高	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円
	431,600	37,900	21,400

(参考) 1 株当たり予想当期純利益(通期) 34 円 65 銭

当第 3 四半期の業績結果を踏まえ、平成 18 年 10 月 25 日に公表しました通期の業績予想を見直しております。セグメントごとの業績予想については、8 ページの「(5) 通期の見通し」に記載しております。

上記の予想には、本資料の発表日現在の将来に関する前提・見通しに基づく予測が含まれております。実際の業績は、様々な要因により記載の予想数値と異なる可能性があります。

[経営成績(連結)の進捗状況に関する定性的情報等]

平成19年3月期から、旅行業(レジャー・サービス業)の一部の売上計上方法を、取扱収入計上から手数料収入計上に変更しております。この変更により、当第3四半期において、109億円の減収となりました。なお、連結営業利益以下の項目に影響はありません。

連結営業収益は3,208億3千8百万円(前年同期比2.5%減)となりましたが、連結営業利益は374億3千3百万円(前年同期比8.3%増)、連結経常利益は348億7千5百万円(前年同期比7.5%増)、連結四半期純利益は、減損損失の減などにより、208億8千9百万円(前年同期比10.6%増)となりました。

セグメント別の概況は以下のとおりであります。

運輸業のうち鉄道事業の輸送人員が、前年同期比0.9%増(うち、定期1.0%増、定期外0.7%増)となり、旅客運輸収入が前年同期比0.8%増となったほか、バス事業でも増収となったことなどにより、営業収益は979億8千1百万円(前年同期比1.4%増)となりました。営業利益は、鉄道事業で減価償却費が増加したことなどにより、189億9千7百万円(前年同期比1.5%減)となりました。

流通業は、ストア業、書籍販売業で新店の開業などにより増収となりました。百貨店業は、前年同期に「阪神タイガース優勝記念セール」の実施があり減収となりましたが、利益面では、人件費、経費の減少などにより増益となりました。これらにより、流通業全体の営業収益は1,430億2千6百万円(前年同期比0.9%減)、営業利益は54億9千3百万円(前年同期比15.9%増)となりました。

不動産業は、不動産賃貸業が増収となり、営業収益は193億9千3百万円(前年同期比0.2%増)、営業利益は73億9千4百万円(前年同期比7.9%増)となりました。

レジャー・サービス業は、旅行業の売上計上方法の変更などにより、営業収益は565億2千6百万円(前年同期比14.0%減)となりました。営業利益は、ホテル業の「京王プラザホテル(新宿)」、「京王プレッソイン」がともに好調に推移し、42億4千6百万円(前年同期比35.0%増)となりました。

その他は、季節的変動要因がありますが、ビル総合管理業の増収などにより、営業収益は310億4千2百万円(前年同期比8.5%増)、営業利益は14億9千7百万円(前年同期比58.9%増)となりました。

当第3四半期のセグメント別の概況

(単位：百万円,百万円未満切捨て表示)

	営業収益			営業利益		
	当第3四半期	前第3四半期	増減率	当第3四半期	前第3四半期	増減率
			%			%
運輸業	97,981	96,665	1.4	18,997	19,288	1.5
流通業	143,026	144,261	0.9	5,493	4,740	15.9
不動産業	19,393	19,362	0.2	7,394	6,853	7.9
レジャー・サービス業	56,526	65,713	14.0	4,246	3,144	35.0
その他	31,042	28,605	8.5	1,497	942	58.9
計	347,970	354,608	1.9	37,629	34,970	7.6
連結修正	27,132	25,540	-	196	420	-
連結	320,838	329,068	2.5	37,433	34,549	8.3

鉄道事業輸送人員と旅客運輸収入

			当第3四半期	前第3四半期	増減率
輸送人員	定期	千人	270,897	268,111	1.0
	定期外	"	193,121	191,825	0.7
	計	"	464,018	459,936	0.9
旅客運輸収入	定期	百万円	25,005	24,679	1.3
	定期外	"	33,781	33,620	0.5
	計	"	58,787	58,300	0.8

[財政状態(連結)の変動状況に関する定性的情報等]

総資産は 6,557 億 4 千 6 百万円、負債は 4,095 億 6 千 5 百万円となり、前連結会計年度末と比較して、それぞれ 250 億 4 千 5 百万円、165 億 9 百万円の増加となりました。これは、主に平成 18 年 4 月 28 日に無担保割引社債 253 億円を発行したことによるものです。

純資産は、その他有価証券評価差額金の減がありました。四半期純利益の計上による利益剰余金の増などにより、85 億 3 千 6 百万円増加し、2,461 億 8 千万円となりました。

[連結キャッシュ・フローの状況に関する定性的情報等]

前年同期との比較を中心とした概況は以下のとおりであります。

営業活動によって得られたキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益が増加しましたが、法人税等の支払額が増加したことなどにより、59 億 1 千 5 百万円減少し、343 億 3 千 6 百万円となりました。

投資活動に使用されたキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出が増加したことなどにより、48 億 2 千 1 百万円増加し、278 億 9 千 9 百万円となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、無担保割引社債の発行などにより、261 億 1 千 4 百万円増加し、222 億 4 千 9 百万円の資金流入となりました。

以上の結果、現金及び現金同等物の当第3四半期末残高は 674 億 9 千 2 百万円、有利子負債の当第3四半期末残高は 2,412 億 4 千 5 百万円となりました。

添付資料

(1) 四半期連結(要約)貸借対照表

(単位：百万円，百万円未満切捨て表示)

期 別 科 目	当第3四半期末 (平成18年12月31日)		前連結会計年度 (平成18年3月31日)		増 減	前第3四半期末 (平成17年12月31日)	
	金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	金 額	構成比
(資 産 の 部)		%		%			%
流 動 資 産	134,124	20.5	99,659	15.8	34,464	100,167	16.3
現金及び預金	37,519		28,833		8,686	34,537	
受取手形及び売掛金	28,242		27,630		612	26,276	
たな卸資産	29,851		25,771		4,080	30,767	
その他	38,510		17,424		21,085	8,586	
固 定 資 産	521,621	79.5	531,040	84.2	9,418	514,747	83.7
有形固定資産	414,345	63.2	411,727	65.3	2,618	407,033	66.2
土地	113,447		111,329		2,118	111,221	
建設仮勘定	26,528		20,401		6,126	21,553	
その他	274,369		279,997		5,627	274,259	
無形固定資産	3,689	0.5	3,010	0.5	679	2,852	0.5
投資その他の資産	103,586	15.8	116,302	18.4	12,716	104,861	17.0
投資有価証券	85,657		99,341		13,683	88,615	
その他	17,928		16,961		967	16,246	
資 産 合 計	655,746	100.0	630,700	100.0	25,045	614,915	100.0
(負 債 の 部)		%		%			%
流 動 負 債	165,435	25.2	158,124	25.1	7,310	141,312	23.0
支払手形及び買掛金	19,809		22,613		2,803	21,053	
短期借入金	56,659		57,988		1,328	50,031	
その他	88,966		77,522		11,443	70,226	
固 定 負 債	241,197	36.8	230,239	36.5	10,957	235,235	38.2
社 債	75,787		60,000		15,787	60,000	
長期借入金	93,415		91,072		2,342	97,241	
退職給付引当金	24,063		25,270		1,206	26,371	
その他	47,930		53,896		5,966	51,623	
特別法上の準備金	2,932	0.5	4,692	0.7	1,759	5,278	0.9
特定都市鉄道整備準備金	2,932		4,692		1,759	5,278	
負 債 合 計	409,565	62.5	393,056	62.3	16,509	381,826	62.1
(資 本 の 部)							
資 本 金	-		59,023	9.4		59,023	9.6
資 本 剰 余 金	-		42,017	6.7		42,016	6.9
利 益 剰 余 金	-		108,651	17.2		107,663	17.5
其他有価証券評価差額金	-		43,155	6.8		37,704	6.1
自己株式	-		15,204	2.4		13,319	2.2
資 本 合 計	-		237,644	37.7		233,088	37.9
負 債 及 び 資 本 合 計	-		630,700	100.0		614,915	100.0
(純 資 産 の 部)							
株 主 資 本	211,506	32.2	-	-		-	-
資 本 金	59,023	9.0	-	-		-	-
資 本 剰 余 金	42,021	6.4	-	-		-	-
利 益 剰 余 金	125,739	19.2	-	-		-	-
自 己 株 式	15,277	2.4	-	-		-	-
評価・換算差額等	34,674	5.3	-	-		-	-
其他有価証券評価差額金	34,674						
純 資 産 合 計	246,180	37.5	-	-		-	-
負 債 純 資 産 合 計	655,746	100.0	-	-		-	-

(2) 四半期連結 (要約) 損益計算書

(単位 : 百万円 , 百万円未満切捨て表示)

期 別 科 目	当第3四半期 〔自平成18年4月1日 至平成18年12月31日〕		前第3四半期 〔自平成17年4月1日 至平成17年12月31日〕		増 減		前連結会計年度 〔自平成17年4月1日 至平成18年3月31日〕	
	金 額	百分比	金 額	百分比	金 額	増減率	金 額	百分比
営 業 収 益	320,838	100.0	329,068	100.0	8,230	2.5	438,253	100.0
営 業 費	283,404	88.3	294,518	89.5	11,113	3.8	398,316	90.9
営 業 利 益	37,433	11.7	34,549	10.5	2,883	8.3	39,937	9.1
営 業 外 収 益	2,026	0.6	2,135	0.6	109	5.1	2,351	0.5
受取利息及び配当金	994		710		283		746	
雑 収 入	1,032		1,424		392		1,605	
営 業 外 費 用	4,584	1.4	4,237	1.3	346	8.2	5,920	1.3
支 払 利 息	4,109		3,701		408		4,918	
雑 支 出	474		536		62		1,002	
経 常 利 益	34,875	10.9	32,447	9.8	2,428	7.5	36,368	8.3
特 別 利 益	2,384	0.7	2,916	0.9	531	18.2	5,170	1.2
特 別 損 失	1,809	0.6	3,912	1.2	2,102	53.7	8,005	1.8
税 金 等 調 整 前 四半期 (当期) 純利益	35,450	11.0	31,451	9.5	3,998	12.7	33,532	7.7
法 人 税 等	14,561	4.5	12,572	3.8	1,988	15.8	13,665	3.2
四半期 (当期) 純利益	20,889	6.5	18,879	5.7	2,009	10.6	19,867	4.5

(注) 特別利益の主な内訳	当第3四半期	前第3四半期	増 減	前連結会計年度
特定都市鉄道整備準備金 取崩額	1,759	1,759		2,346
工事負担金等受入額	189	545	356	1,935
固定資産売却益	129		129	140
貸倒引当金戻入益		308	308	308
投資有価証券売却益		149	149	184
特別損失の主な内訳				
減損損失	744	1,621	876	2,698
固定資産除却損	477	906	429	1,649
固定資産圧縮損	189	545	356	1,932
固定資産売却損	126		126	
固定資産臨時償却		713	713	713

(3) 四半期連結 (要約) キャッシュ・フロー計算書

(単位 : 百万円 , 百万円未満切捨て表示)

科 目	期 別	当第 3 四半期 (自 平成18年 4月 1日) (至 平成18年12月31日)	前第 3 四半期 (自 平成17年 4月 1日) (至 平成17年12月31日)	前連結会計年度 (自 平成17年4月 1日) (至 平成18年3月31日)
		金 額	金 額	金 額
営業活動によるキャッシュ・フロー				
税金等調整前四半期(当期)純利益		35,450	31,451	33,532
減 価 償 却 費		21,952	21,293	28,183
減 損 損 失		744	1,621	2,698
法人税等の支払額		15,631	11,944	12,075
その他の		8,180	2,170	2,605
営業活動によるキャッシュ・フロー		34,336	40,251	54,944
投資活動によるキャッシュ・フロー				
有形固定資産の取得による支出		31,459	26,240	34,975
その他の		3,560	3,162	1,934
投資活動によるキャッシュ・フロー		27,899	23,078	33,040
財務活動によるキャッシュ・フロー				
借入金・社債等の純増減額		26,366	409	2,197
自己株式の取得による支出		82	72	1,963
配当金の支払額		3,706	3,722	3,722
その他の		328	478	810
財務活動によるキャッシュ・フロー		22,249	3,864	4,299
現金及び現金同等物に係る換算差額		3	4	5
現金及び現金同等物の増減額		28,689	13,313	17,609
現金及び現金同等物の期首残高		38,802	21,192	21,192
現金及び現金同等物の四半期(期末)残高		67,492	34,506	38,802

(4) セグメント情報

〔事業の種類別セグメント情報〕

当第3四半期（自平成18年4月1日至平成18年12月31日）

(単位：百万円，百万円未満切捨て表示)

	運輸業	流通業	不動産業	レジャー・サービス業	その他	計	消去 又は全社	連結
営業収益及び営業利益								
営業収益								
(1) 外部顧客に対する営業収益	95,862	141,266	17,903	53,026	12,779	320,838		320,838
(2) セグメント間の内部営業収益又は振替高	2,119	1,759	1,489	3,500	18,263	27,132	(27,132)	
計	97,981	143,026	19,393	56,526	31,042	347,970	(27,132)	320,838
営業費用	78,984	137,532	11,998	52,280	29,545	310,341	(26,936)	283,404
営業利益	18,997	5,493	7,394	4,246	1,497	37,629	(196)	37,433

前第3四半期（自平成17年4月1日至平成17年12月31日）

(単位：百万円，百万円未満切捨て表示)

	運輸業	流通業	不動産業	レジャー・サービス業	その他	計	消去 又は全社	連結
営業収益及び営業利益								
営業収益								
(1) 外部顧客に対する営業収益	94,479	142,314	17,897	62,374	12,002	329,068		329,068
(2) セグメント間の内部営業収益又は振替高	2,185	1,946	1,464	3,339	16,603	25,540	(25,540)	
計	96,665	144,261	19,362	65,713	28,605	354,608	(25,540)	329,068
営業費用	77,376	139,520	12,508	62,569	27,663	319,638	(25,119)	294,518
営業利益	19,288	4,740	6,853	3,144	942	34,970	(420)	34,549

前連結会計年度（自平成17年4月1日至平成18年3月31日）

(単位：百万円，百万円未満切捨て表示)

	運輸業	流通業	不動産業	レジャー・サービス業	その他	計	消去 又は全社	連結
営業収益及び営業利益								
営業収益								
(1) 外部顧客に対する営業収益	125,770	186,067	22,400	79,840	24,174	438,253		438,253
(2) セグメント間の内部営業収益又は振替高	2,748	2,630	1,922	4,934	27,602	39,839	(39,839)	
計	128,519	188,697	24,322	84,775	51,777	478,092	(39,839)	438,253
営業費用	107,623	183,083	15,849	81,293	49,731	437,580	(39,264)	398,316
営業利益	20,896	5,614	8,473	3,481	2,045	40,512	(574)	39,937

(5) 通期の見通し

(単位：億円，億円未満切捨て表示)

	平成 19 年 3 月期 (予想)	平成 18 年 3 月期 (実績)	増減率	平成 19 年 3 月期 (予想) 【前回公表値】
連結営業収益	4,316	4,382	1.5%	4,271
連結営業利益	419	399	4.9%	399
連結経常利益	379	363	4.2%	360
連結当期純利益	214	198	7.7%	205

当第3四半期の業績結果を踏まえ、平成18年10月25日公表の通期の業績予想(前回公表値)を見直し、連結営業収益は4,316億円、連結営業利益は419億円、連結経常利益は379億円、連結当期純利益は214億円を見込んでおります。セグメント別の状況は以下のとおりであります。

セグメント別営業収益と営業利益(平成19年3月期予想)

(単位：億円，億円未満切捨て表示)

	営業収益		営業利益	
	金額	対前期増減率	金額	対前期増減率
運輸業	1,301	1.2%	202	3.0%
流通業	1,871	0.8%	56	1.2%
不動産業	272	12.1%	92	9.7%
レジャー・サービス業	729	14.0%	44	27.5%
その他	564	9.1%	26	30.5%
計	4,739	0.9%	423	4.5%
連結修正	422	-	3	-
連結	4,316	1.5%	419	4.9%